

メーデー宣言

本日、私たちは第87回佐賀県中央メーデーを開催した。

4月14日以降、熊本県で発生した巨大地震は、継続的かつ広範囲に甚大な損害を与えた。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々、避難を余儀なくされた方々にお見舞いを申し上げる。

私たちは自然の驚異と向き合いつつ、お互いが力を合わせ、支え合い助け合い生きていかなければならない。あの東日本大震災から5年が経過したが、今もなお多くの方々が心の苦しみを抱え、不自由な生活を強いられている。連合は、被災地の復興・再生を引き続き全力で支えていくとともに、震災を決して風化させないよう、被災地はもとより、全国の仲間と連携した取り組みを継続・強化していく。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）と連携し、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、すべての人々にディーセント・ワークを実現していかなければならない。

そのためにも、本年開催されるG7伊勢志摩サミットでは、世界の労働組合の声を結集し、「不平等の是正」「人への投資とディーセント・ワークの創出」「ジェンダー平等」「雇用に配慮した循環型社会への移行」を訴えていく。

一方、国内においては、働き方、性別、企業規模、地域の違いなどによる格差や低所得、将来不安を原因とする長期デフレからの脱却が喫緊の課題である。これらの課題を克服し、経済の好循環を実現させるために、2016春季生活闘争を通じたすべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現をはかる。加えて、雇用、労働、福祉など政策・制度の実現を通じた雇用の安定と質の向上や、子育て、医療、介護などの社会的セーフティネットの拡大・強化による将来不安の解消、さらには労働組合づくりを通じた集団的労使関係の拡大を進めなければならない。

今こそ、暮らしの底上げが必要である。パートや派遣、有期などで働く非正規労働者や中小・地場企業で働く労働者、未組織労働者と手を携え、すべての働く者・生活者を代表し、志を同じくする関係団体やNPO・NGOとの連携を深め、「働くことを軸とする安心社会」をつくろう！

本メーデーを契機に、私たちは「クラシノソコアゲ応援団！2016RENGOキャンペーン」を通じて、一人ひとりが、職場・家庭・地域で理解と共感を呼び起こす取り組みをより一層展開し、社会的うねりを巻き起こしていく。そのうえで、連合は、働く者に寄り添う政治の実現をめざして、来たる7月の参議院議員選挙での組織内候補者ならびに推薦候補者全員の勝利に向け、総力を挙げて取り組む。

以上、宣言する。

2016年4月29日
第87回佐賀県中央メーデー